

令和7年度在宅歯科医療連携室機能強化事業

在宅歯科医療研修会

平素より本会の事業運営につきましては、格別のご高配を賜り、心から御礼申し上げます。
昨年度の点数改定により、歯科のフィールドは地域包括ケアに於いてますます拡がりつつあります。今回は、
日本大学歯学部摂食機能療法学講座 主任教授 米永 一理先生をお招きし、在宅医療での
多職種連携・フレイル・口腔機能低下症等をテーマに研修会を開催いたします。

充実の2日間コース
受講料無料

講師 米永 一理 (よねなが かずみち)先生

医師・歯科医師 鹿児島大学歯学部、東海大学医学部卒業

〈現職〉

日本大学歯学部 摂食機能療法学講座 主任教授

日本大学歯学部附属歯科病院 摂食機能療科/口腔外科2 科長

東京大学医学部老年病学 非常勤講師



会場 熊本県歯科医師会館(熊本市中央区坪井2-4-15)

1日目 令和7年12月6日(土) 15:00-18:00

基調講演(Web併催)後、グループワーク(現地のみの開催)

★ポイント★

医歯薬、看護介護の視点を横断する「全身から見た食支援」
食を通じた生活の質(QOL)の向上と、チーム医療の醍醐味
「楽しくなる連携」実現のための実践ヒント

演題 「『食べる』に関わる全身のみかた」
～食を目的とした繋がりで連携がもっと楽しくなる～

◇グループワークテーマ

各地域で「できている食支援」と「できていない食支援」

2日目 令和7年12月7日(日) 10:00-13:00

基調講演(Web併催)

演題 「歯科漢方薬の使い方」
～オーラルフレイル・口腔機能低下症に対し何ができるか～

フレイルや低栄養に対する歯科領域の介入が求められている高齢者及び在宅医療の現場に漢方薬は有用なツールとなりうる。今回、口内炎、舌痛症、口腔乾燥症などの具体的な病態を例示しながら、オーラルフレイル・口腔機能低下症に対する次の一手として、明日から使える口腔領域の漢方薬の使用方法をまとめる。

お申込みは裏面にて

お問い合わせ

★裏面の申込様式をFAX送信又はQRコードにて12月1日(月)までにお申込みください。

★この研修は、施設基準「口腔管理体制強化加算」の要件の一部を満たす研修として、各日程受講後に終了証(歯科医師のみ)を送付(会報発送時に同封)いたします。

熊本県歯科医師会
在宅歯科医療連携室 金子

096-343-8020

令和7年度在宅歯科医療連携室機能強化事業

在宅歯科医療研修会

申込締切：12月1日（月）

FAX又は下記QRコードにてお申込みください。

FAX

FAX番号 096-343-0623

- 参加方法(☑)： ※複数可
- ☐ 12月6日(土)来館希望
 - ☐ 12月6日(土)オンライン希望
 - ☐ 12月7日(日)来館希望
 - ☐ 12月7日(日)オンライン希望

氏名：

メールアドレス：

勤務先：

- 職種(☑)：
- ☐ 歯科医師 ☐ 医師 ☐ 薬剤師 ☐ 看護師 ☐ 歯科衛生士
 - ☐ 保健師 ☐ 理学療法士 ☐ 作業療法士 ☐ 言語聴覚士 ☐ 介護支援専門員
 - ☐ 栄養士 ☐ 介護福祉士 ☐ 行政 ☐ 事務職
 - ☐ その他()

QRコード

QRコードでのお申し込みはこちらを読み取ってください。
データでご覧の方は、QRコードをクリックするとリンクが開きます。
※こちらからのお申し込みは12/1（月）17:00までです。

